

宅配キット 企業・学校からの活用広がる

衣類のリユースでパ
ラスポーツを応援する
「ふくのわプロジェクト」
。7月に自宅から手軽に衣類を送れる宅
配キット「おうちでふくのわ」を発売したと
ころ、企業の社会的責任（CSR）や生徒会
活動の一環として、会社や学校単位での購入
例も増えており、新たな協力の輪が広がって

きた。
レディースフォーマルウェア大手の東京ソ
ワール（東京都港区）もその一つ。「衣服に
関係することで社会貢献活動がしたい」と話
す同社では、社内で従来のふくのわの衣類回
収を昨年度から春と秋に実施してきたが、コ
ロナ禍の今年度は社員の発案で「おうちでふ
くのわ」を利用。参加希望者には、社内報用

に写真を提供することを条件に、会社からキ
ットを支給し、自宅から衣類を送れるよう
にした。

社員個人や支社からの申し込みが相次ぎ、
すぐに募集枠が埋まった。同社のCSR担
当、斉藤由美さんによると「通勤電車で衣類
を持参することに比べると手軽で好評で
す」。斉藤さんの手元には、寄付する衣類の
前で家族と一緒に笑顔を見せる社員の写真が
続々と届き始めているという。

朝礼の時間を活用して参加希望者を募っている



ふくのわへの協力をあり
がとうございます。今月も
全国からふくのわに多くの
衣類が寄せられています。
10月は総寄付量 1万2255
キロ、収益金は14万2357円
(29日現在) でした。

2020年10月31日付 産経新聞 掲載